

Regeo

デジタルバックミラー(ドライブレコーダー機能搭載)

SRZ-924

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

| | | | |
|---------------------------|----|--------------------|----|
| microSDカードについて (重要) | 1 | カメラファンクション画面 | 38 |
| 安全上のご注意 (必ずお守りください) | 4 | メインメニュー画面 | 42 |
| 使用上のご注意 (必ずお守りください) | 7 | 液晶画面の操作 | 43 |
| 注意事項 | 8 | 録画 | 44 |
| 商品構成一覧表 | 14 | 録画種別 | 45 |
| 各部の名称と働き | 15 | 録画ファイル | 50 |
| 取り付け | 18 | 再生メニュー | 53 |
| 本体取り付け | 20 | リバース連動 | 55 |
| シガー電源アダプター | 23 | 駐車監視録画 | 60 |
| リヤカメラ取り付け | 24 | 設定モード | 63 |
| microSDカード | 28 | SDカード情報 | 65 |
| フォーマットフリー | 32 | PCビューワー | 66 |
| 電源オン/オフ | 33 | トラブルシューティング | 67 |
| 画面モード | 35 | エラーメッセージ | 70 |
| カメラモード画面 | 36 | その他 | 71 |
| ミラーモード画面 | 37 | 製品仕様 | 73 |
| | | MEMO | 74 |

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両のバッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的に点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSDカードについて（重要）



本製品を使用する前は、必ず、microSDカードをフォーマットしてください。



安定してご使用いただくため、microSDカードは定期的にフォーマット（初期化）してください。

※推奨: 1ヶ月ごと

microSDカードのフォーマット操作方法については、P.30を参照してください。

●microSDカードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSDカード内のデータを初期化することであり、長期間、microSDカードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSDカードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および1ヶ月ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSDカードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSDカード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSDカードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

microSDカードについて（重要）



microSDカードを使う前に、次の内容を確認してください

- パソコンなどでフォーマットされたmicroSDカードを本機へ挿入すると、フォーマットを促す画面が表示される場合があります。その場合は、本機でフォーマットを行ってください。
- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードは消耗品です。1日2時間程度使用した場合、約1年程度を目安に交換することをお勧めします。正常に使用していても、長期間使用すると正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- 安定してご使用していただくためには、設定画面から定期的にフォーマットすることをお勧めします。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSDカードは消耗品となります。microSDカードは永久に書き込みや削除の繰り返しをして使用し続けることはできず、限界があります。本機によるフォーマットを実行しても改善が見られない場合はmicroSDカードを新品に交換してください。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードをフォーマットすると記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めて、本体の電源をオフにしてください。電源が入っている状態でmicroSDカードの抜き差しをすると、microSDカード自体およびファイルが破損する場合があります。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 市販のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードについての仕様に関しては、microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- 専用駐車監視ケーブルを使用して長時間録画を行う場合、録画データが上書きされる場合がありますので、ご注意ください。
- 専用駐車監視ケーブルを使用して駐車監視録画を行う場合、microSDカードへ録画記録を続けるため、microSDカードの寿命が短くなる可能性があります。
- 本機は、8GB～64GB Class 10以上のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。市販品のmicroSDカードを使用された場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- UHS-I規格の製品はClass 10を謳っていても動作しない場合があります。

microSDカードについて（重要）

- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- microSDカードのエラー発生時、記録した録画ファイルや静止画ファイルを復旧できない場合があります。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 重大な事故などで電源が断られた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをお勧めします。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

| | | |
|--|-----------|------------------------------------|
|  | 警告 | 人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項 |
|  | 注意 | 人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項 |
|  | 禁止 | 絶対にしていけない事項 |
|  | 強制 | 必ず守るべき事項 |

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。（ヒューズ:3A）

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を
及ぼす場所には絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ハンドル付近など）前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルト
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画
像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常
に動作することを確認する。

-  車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにな
らないように配線する

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き直し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ❌ 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ❌ 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

機器の通風孔を塞がない

- ❗ 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

DC12V/24Vマイナスアース車で使用する

- ⚠️ DC12V、24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

- ❌ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

-  強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

液晶画面に表示される映像とミラー表示は異なります

-  液晶画面に表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

システムには限界があります

-  本製品のカメラ機能は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 運転者が本機の設定操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中、運転者が本機を注視することは道路交通法に抵触しますので、おやめください。

⚠ 注意

取り付け中はエンジンを切る

- ⚠ 本機の実取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

- ⚠ トンネル入出時、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

- ⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

日本国内のみで使用する

- ⚠ 本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。

磁性性があるものに近づけない

- ⚠ 本機の近くに磁性性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

フロントガラス、リヤガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

- ⚠ 車のフロントガラス、リヤガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

microSDカードの保存容量超えに注意

- ⚠ ファイルが増えると、microSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなったり、緊急録画できなくなる可能性があります。必要に応じてファイルを削除してください。

TVやラジオ、GPSアンテナから20cm以上離してください。

- ⚠ 各種車載機器やアンテナ等から本機を20cm以上離して設置してください。誤作動及びノイズ発生の原因をなることがあります。

注意事項

GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略称です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビル群、山間部等では、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約50m～100m程度の測定誤差が出る場合があります。
- 自車位置はGPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位を行うことはできません。
- 本機の録画データに記録される日時や位置情報はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- GPSの性能を発揮するため、フロントウィンドウに塗装やシール貼付等しないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮しなくなります。
- 車両のフロントウィンドウガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPS受信に影響が出る可能性やGPSが受信できない可能性があります。
- カメラやGPSは各車載機器（※1）および各アンテナ（※2）からなるべく離れた位置に設置してください。車載機器やアンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本機もしくは各車載器が誤動作を起こす原因となる場合があります。そのような場合、各車載器から離して、GPS衛星の受信に影響のない場所へ設置してください。
 - ※1 ナビゲーション本体、ETC車載器、地デジチューナー、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機など
 - ※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど
- GPSの受信環境により、起動時間が長くなったり、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- 最後に電源オフしてからの自車位置と次に電源オンした地点が離れていた場合、GPS受信までに時間がかかる場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などを搭載した車両に設置すると、位置によっては衝突回避支援システムからのノイズに干渉し、GPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーション本体や地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器から漏れた電波により、GPSを受信できない場合があります。
- 長期間本機をご使用にならなかった場合や内蔵キャパシタの充電が空の場合、本体内蔵のGPS測位（受信）に時間がかかる場合（3～4分）があります。その場合、電源を入れてからしばらくすると正常にGPS受信します。
- GPSが測位（受信）できていない場合、日時の自動取得ができなくなります。

注意事項（つづき）

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディション(※)によって、再起動する場合があります。頻繁に再起動する場合、車両バッテリーの電圧をご確認してください。
※ストップ&ゴーを頻繁に繰り返すような渋滞時や車両のバッテリーを通常時よりも大きく消費する環境時（エアコンやハザード、デフロスター、ワイパー作動時等）に発生する可能性があります。

録画・操作について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 運転者は走行中に本機を操作しないでください。道路交通法に抵触する場合があります。
- 画面モード切り替えや輝度調整、静止画撮影を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上で操作してください。
- 設定操作やリバース連動設定を行う場合は、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態（パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態）で行ってください。

リヤカメラについて

- 本製品専用のリヤカメラとなります。その他の製品（他社製品含む）に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リヤカメラは本体同様、防水構造ではありません（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をする、断線等が起き、故障や破損の原因となります。
※配線処理が困難な場合は、車両販売店や専門業者へお問い合わせください

注意事項（つづき）

取り付けについて

- 本書の「取り付け」にしたがって、正しく取り付けてください。
→「P18 取り付け」
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面には衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などに干渉しない場所へ取り付け配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- カメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- 純正ミラーの形状やミラー周辺の干渉物によっては、取り付けができない場合があります。
- 純正ミラーに取り付ける際は、固定用バンド、スライドアームで確実に取り付けしてください。取り付けに不備があると、走行中に脱落するなど大変危険です。
- 車両の室内ルーフがGPSアンテナに被ってしまう車両はGPSを受信しにくい場合があります。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

ミラーについて

- 本機のミラーは専用の液晶モニターを採用しているため、ミラーモードにした場合、純正ミラーとは異なった見え方となります。

注意事項（つづき）

液晶ディスプレイ・録画ファイルについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。ディスプレイの明るさを調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約-10°C以下または約60°C以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、画像表示が遅延、画像が消えるのに時間を要する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 本体の温度が極端に高い場合や低い場合は、カメラ映像が乱れる場合があります。本体が適正な動作仕様温度に戻ると、正常に表示するようになります。
- 使用環境や状況により、太陽光や照明等の直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶画面が見えにくくなる場合があります。
- 夜間など暗い環境下や照明の下などでは、実際の色味などが異なる場合があります。
- ルーフ付車の場合は、画面への映り込み軽減のため、シェードを閉めてご使用ください。
- 通常のミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさや距離感が異なって見える場合があります。
特にカメラ画面（カメラモード）時は、液晶画面に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- 本機は純正ルームミラーとは視界の範囲や実際の距離感と異なります。
- 明るいところから暗いところなどへ移動した場合、急激な明暗の変化時にノイズが発生したり、画面の色調が青くなる・赤くなるといった変化が生じる場合がありますが、これはレンズの性質であり故障ではありません。
- 特に夜間など、光源が極端になくなった場合、画面の色味が変化する場合があります。また、その状態から再度光を取り込むと、実際に肉眼で見た場合の色味や明るさと異なる場合があります。
- 特に夜間など、光源が極端になくなった状態から急激に光を取り込むと、実際に肉眼で見た場合の色味や明るさと異なる場合があります。
- ディスプレイが反射して見えにくい場合は、サンシェードを閉めてください。
- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・ 映像の色と実際の色が異なって見える
 - ・ 後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える
 - ・ 液晶の輝度調整をすることにより、特有のちらつきが発生する※ 映像が見えにくい場合やちらつきが気になる場合は、ミラーモードに切り替えてご使用ください

注意事項（つづき）

液晶ディスプレイ・録画ファイルについて

- 本体が発熱することがありますが、異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、ミラーモード(液晶オフ)に切り替えてください。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、実際に見える現実の風景と異なる場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、速度や周囲の環境、光源量により、表示フレームレートの影響に伴い、応答速度が遅くなり滑らかに表示できない場合があります。
- 液晶ディスプレイに表示されているカメラ映像は、トンネルや地下駐車場への進入・退出時など、周囲の光の量の急激な変化により、一時的にノイズを発生する場合があります。
- 液晶ディスプレイ上で長時間連続的な操作を行った際、応答速度に遅延が生じたり、画面にチラつきが発生したりする場合がありますが、これは故障ではありません。予めご了承ください。
- 液晶ディスプレイ上で長時間連続的な操作を行った際、応答速度に遅延が生じたり、画面にチラつきが発生したりする場合がありますが、これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 録画環境により、録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が青くなる場合や赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 電源オン後、SDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 液晶画面で見る映像と実際の記録された映像ファイルでは環境や走行状態、光の加減等で違いが生じる場合があります。
- 特に夜間など、光源が少ない場所等では、歩行者や自転車等が横切った場合、残像が生じる場合があります。これは映像処理によるものであり、故障ではありません。
- 液晶画面の汚れはクリーニングクロスで清掃してください
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。

注意事項（つづき）

シガー電源アダプターについて

- 付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。
- シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。本体への電源供給不足により、正常に動作しない場合があります。また、カメラ映像画面にちらつきが発生する場合や火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

本機の日付と時刻について

- 本機の日付と時刻は、GPSデータを受信すると自動で設定されます。
→日付設定について「P64 設定モード」
 - ※トンネルやビル群、山間部などGPSを受信できない環境では日時が取得できません
 - ※GPSを受信できない環境に置かれた場合、録画データの日時にずれが生じることがあります

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

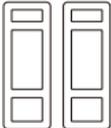
リバース連動について

- 本機はバックギアに入れる（リバースオン）ことで、車の後方をDISPLAY（液晶）画面で確認することができます（リバース連動機能）。
- リバース連動のカメラ映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 後退する際は、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リバース連動のカメラ映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リバース連動のカメラが映し出す範囲には限界があります。
- リバース連動のカメラ映像に映し出される車幅・距離ガイドラインは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所、天候などの使用（環境）状況により画質が低下する場合があります。
- ガイドラインはあくまで目安となります。
- リバース連動の表示調整や本機の角度調整を行う際は、安全な場所に停車し、サイドブレーキを確実に引いた状態かつ周囲の安全を確かめた上で行ってください。
- リヤカメラの映像は広角レンズを使用していますので、実際の距離と感覚が異なります。必ずゆっくりと運転してください。

商品構成一覧表

本体および付属品

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

| | | |
|--|--|---|
| <p>■ 本体</p>  | <p>■ リヤカメラ</p>  | <p>■ シガー電源アダプター (約3m)</p>  |
| <p>■ リヤカメラ延長ケーブル (約8.5m)</p>  | <p>■ microSDカード32GB (本体挿入済み)</p>  | <p>■ 取り付け用ゴムバンド</p>  |
| <p>■ GPS</p>  | <p>■ GPSプレート</p>  | <p>■ クリーニングクロス</p>  |
| <p>■ 取扱説明書</p>  | <p>■ 保証書</p>  | |

オプション品 (別途、お買い求めください)

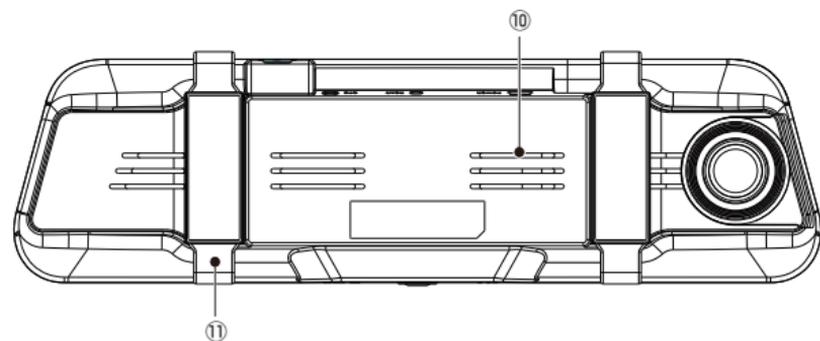
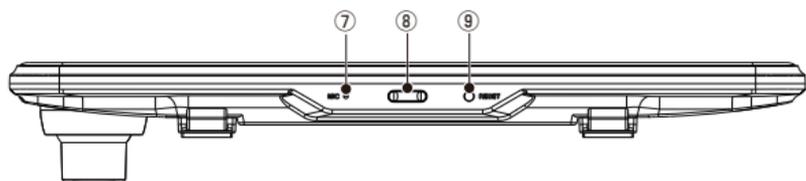
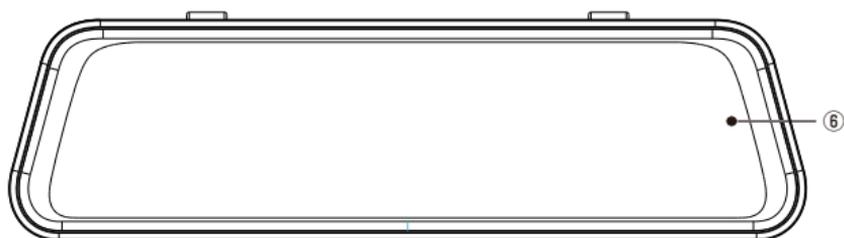
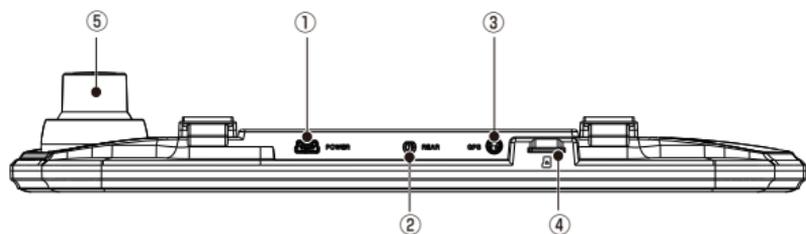
■ 常時電源ケーブル (RDPC-2)



※別売品について→「P71 その他」を参照ください

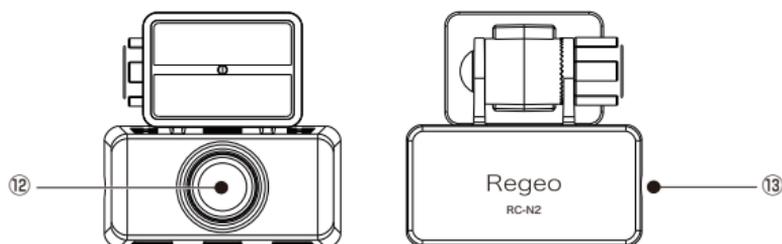
各部の名称と働き

本体



各部の名称と働き (つづき)

リヤカメラユニット



各部の名称と働き

①電源端子

付属のシガー電源アダプターを接続します(mini-USB)。

②リヤカメラ端子

付属のリヤカメラケーブルを接続します($\phi 2.5\text{mm}$)。

③GPS 端子

付属の GPS ケーブルを接続します($\phi 3.5\text{mm}$)。

④ microSD カード挿入口

microSD カードを挿入します。

※無理な力で差し込んだり、抜き出したりしないようご注意ください

※microSD カードが入りづらい場合は、一度抜き出してから、再度垂直・水平に挿入してください

※電源が入っている状態で抜き差しをするとデータ破損の原因となりますので、電源がオフの状態で行ってください

⑤カメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

⑥液晶モニター(ミラー)

液晶ディスプレイについては、「P11 注意事項」をよくお読みください。

⑦マイク

周囲の音声を録音します。

各部の名称と働き（つづき）

⑧MODE(モード)ボタン

短押し：カメラモード／ミラーモードの画面モードを切り替えます。
長押し(2秒以上)：本機の電源をオフにします。

⑨リセットボタン

本機が動作しなくなった場合や期待しない動作状態になった場合に短押ししてください。

⑩スピーカー

操作音やファイル再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

⑪フックアーム

車両ルームミラーに取り付ける際、フックアームと取り付け用ゴムバンドで本体を固定します。

⑫カメラレンズ

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

⑬リヤカメラケーブル端子

リヤカメラケーブル端子と接続します。

ご注意

- microSDカードを抜き差しする場合、必ず電源がオフの状態で行ってください。電源が入っている状態で抜き差しを行うと、データが破損される可能性があります。
- 各接続ケーブル端子を接続(抜き差し)する場合、必ず電源がオフの状態で行ってください。電源が入っている場合に接続(抜き差し)すると、各機器が破損する恐れがあります。

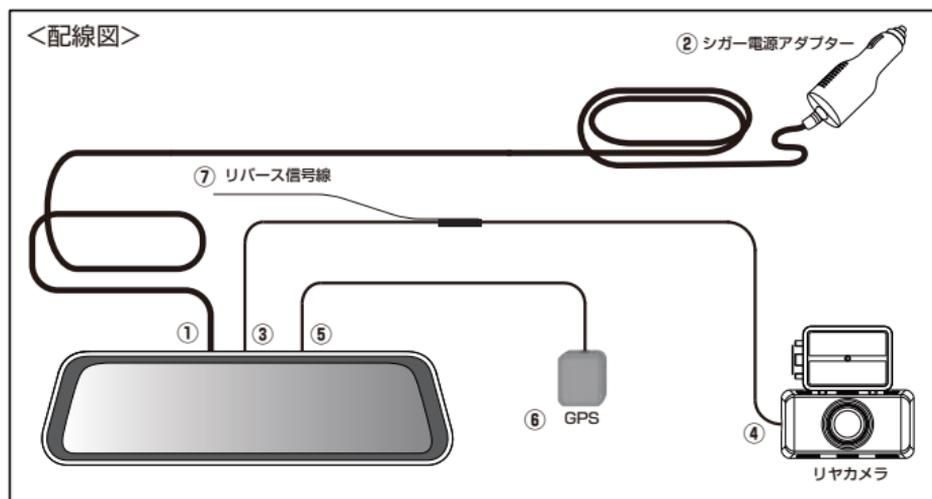
取り付け

各種ケーブルの接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。

※各プラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください。



<シガー電源アダプターの接続>

プラグ①+②シガー電源アダプターを接続します。

※シガー電源アダプターは車両のシガーソケットへ差し込みます。

※電源がオンの状態で各種ケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります

<リヤカメラの接続>

プラグ③(本体側)+プラグ④(リヤカメラ側)を接続します。

<GPSの接続>

プラグ⑤(本体側)+プラグ⑥(GPS側)を接続します。

<リバース線の接続(リバース運動)> →リバース運動について「P55 リバース運動」

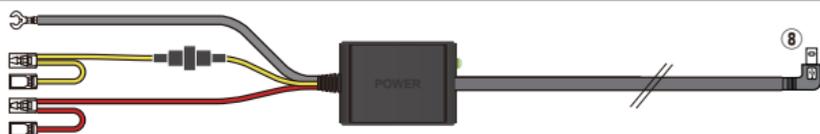
車両のリバース信号線(紫線)と配線⑦を接続します。

※バックギア(リバース)をオンした際、バックカメラとしてご使用する場合、この接続が必要となります

※リバース線の接続を行わない場合は、バックギアをオンにしてもリバース運動が作動しません

取り付け (つづき)

常時電源ケーブル (別売品 : RDPC-2) を使用する場合の接続



別売)常時電源ケーブル(RDPC-2)

<常時電源ケーブル(RDPC-2)を使用する場合>

プラグ⑧を本体の電源端子へ接続します。

※駐車監視機能を使用する場合は、付属品のシガー電源アダプターの代わりにRDPC-2が必要となります

※別売品の常時電源ケーブル(RDPC-2)のACC、+B、アース(GND)の接続については、RDPC-2の取扱説明書(接続図)をご確認ください

⚠ ご注意

- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 端子の向きにご注意ください。また、無理に接続したり外そうとすると、本体端子およびケーブル端子が破損する場合があります。
- 各ケーブルを接続および取り外す場合は、車両のエンジンがOFFになっていること、本体の電源がOFFになっていることを確認してください。電源が入った状態で接続を行うと、故障の原因となります。
- ケーブルを無理な力で折り曲げたりしないでください。断線する恐れがあります。無理に曲がった状態で長期間使用しますと、本機およびケーブル破損の原因となります。
- カメラの取り付け位置や角度によって、ケーブルがガラスや車両パーツと干渉する場合があります。その際は、取り付け位置を見直し、干渉しない場所へ設置してください。
- 常時電源ケーブルの接続についてはRDPC-2の取扱説明書を参照してください。
- 取り付けおよび配線の取り回しは運転の妨げにならないように行なってください。
- 車両自体の安全装置(エアバッグや安全運転支援システム等)に影響がない場所へ取付けてください。
- 運転に支障をきたす場所へは絶対に配線しないでください。
- ケーブル類はコードクランプやインシュロック等を使用し、取り回しを行ってください。
- 本書のイメージはあくまでも例となります。車両によって接続位置等の場所が異なりますので、車両の取扱説明書をよくお読みになって配線してください。
- 取り付けには専門の知識と技術が必要となりますので、販売店または専門技術者へ依頼してください。

本体取り付け

ご注意

本製品は、車両の純正ルームミラーに取り付けて使用します。それ以外の箇所への取り付けは行わないでください。また、運転手の視界を妨げないようにご注意ください。

本体取り付けについて

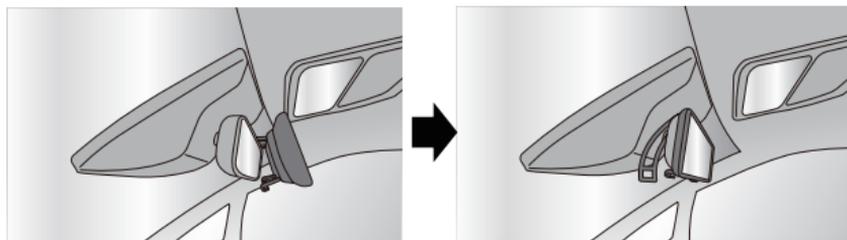
固定用フックアームおよび取り付け用ゴムバンドを使って、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

※取り付けの際は、ルームミラーに強い荷重が掛からないよう、本機とルームミラーをしっかりと支えながら取り付けてください

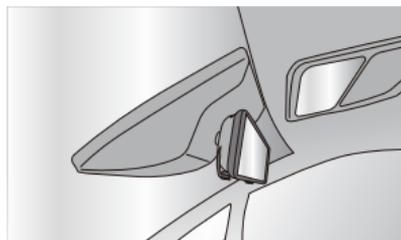
※フックアームを取り付ける際、無理な力を加えないようにご注意ください。ケガおよび破損の原因となります

▼本体取り付け方法

1. 固定用バンドをフックアーム上部に引っ掛けます(2箇所)。
2. フックアームを純正ルームミラーを挟み込むように、下側のフックにゴムバンドを巻き込むように引っ掛けます。



3. もう片側も同じ方法で取り付け、本体の位置を調整します。
4. 純正ルームミラーと本体と一緒に持ちながら、本体が確実に装着されていることを確認してください。

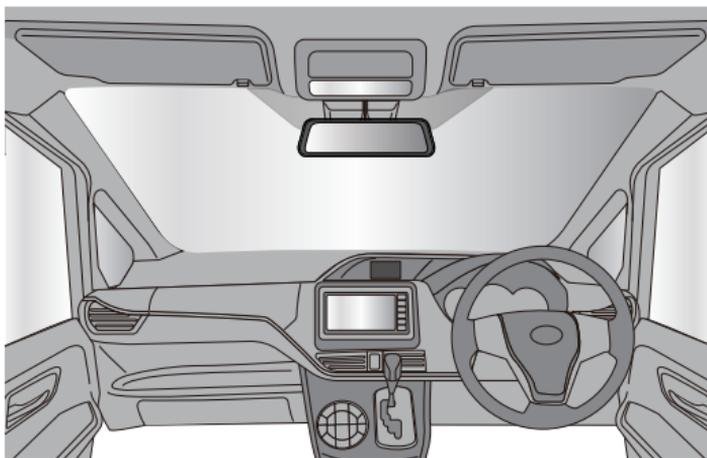


本体取り付け (つづき)

⚠️ ご注意

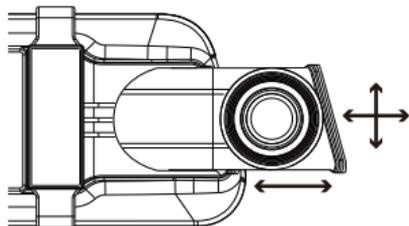
付属品の取り付け用ゴムバンドを使用して、しっかりと固定されていることを確認してください。

本体取り付けイメージ



フロントカメラ調整

フロントカメラをスライドさせてから、カメラの位置を調整します。



⚠️ ご注意

- 必ずステー部分を支えながら角度調整してください。
- レンズ部分に手を触れないでください。
- 運転者は走行中にカメラ調整を行わないでください。

本体取り付け（つづき）

ご注意

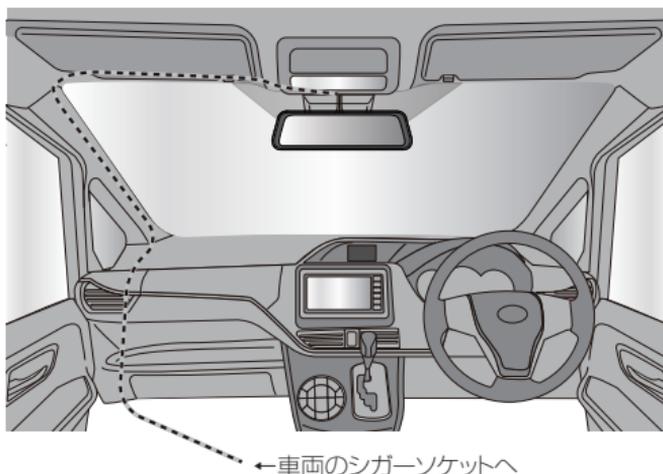
- 本製品が純正ミラーにしっかりと装着されているか確認の上、ご使用ください。
- 必ず取り付け用ゴムバンドを使用して取り付けてください。走行中に外れる可能性があり、大変危険です。
- ルームミラーの車体への取り付け強度が弱い車種などは、破損やぐらつきの原因となりますので、ご注意ください。
- 取り付け時は、ルームミラーに強い荷重が掛からないように、ルームミラーをしっかり支えてください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種では破損する原因となります。
- 本機は、純正ルームミラーとは視界の範囲や距離感が異なります。
- 本機は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動などによりミラーが触れてしまう場合やルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- 走行中、運転者によるミラーの角度調整や操作は絶対に行わないでください。
- 取り付けの際、純正ミラーに負荷が掛からないように、両手で押さえながら作業を行ってください。
- 運転者の視界を妨げないように取り付けをしてください。
- 本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。
- 取り付けの際、本機の鏡部分（液晶部分）やフレームなどを強く押ししたりしないでください。
- 紫外線の影響により、本体が色褪せする場合があります。
- 各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- 電源がオンの状態でケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。また、本体が自動的に再起動または本体フリーズする場合があります。
- 電源オンの状態で、各種ケーブルや付属品を接続すると、誤動作したり故障する可能性がありますので、おやめください。
- カメラの調整を行う場合は、本製品の液晶画面で映像を確認しながら行ってください。
- 取り付け位置によって、対向車のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- 純正ルームミラーが薄い場合、本機の固定部分の内側にはまってしまう、傷がつく恐れがあります。必ず、ゴムの部分で固定するように取り付けしてください。
- 上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

シガー電源アダプター

シガー電源アダプターの接続

同梱のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込みます。

※この時、車のエンジンはオフ(アクセサリーオフ)の状態でご接続してください
(エンジンオン状態で接続すると、破損・故障の原因となります)



⚠ ご注意

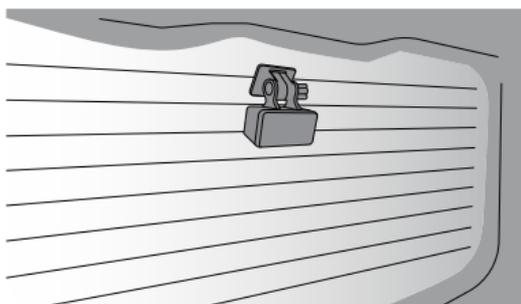
- シガー電源アダプターは必ず付属品をお使いください。
- 付属品以外のシガー電源アダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。また、動作した場合であっても、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- シガーソケットを分岐した状態で使用しないでください。分岐された状態で使用すると、電圧の関係上、録画できない場合や画面のちらつきが発生する可能性があります。
- シガーライター使用直後は、電源端子が高温になっています。そのままシガー電源アダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間を置いて、熱が冷めた状態でシガー電源アダプターを接続してください。
- 安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください(必要に応じてインシュロック等で配線してください)。
- 長期間本機を使用しない場合、シガー電源アダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。
- キーを抜いた状態または車両電源がOFF状態でシガープラグに通電している車種は、バッテリー保護のため、エンジン停止時は必ず、シガー電源アダプターを抜いてください。

リヤカメラ取り付け

リヤカメラ取り付け

▼リヤカメラ取り付け方法

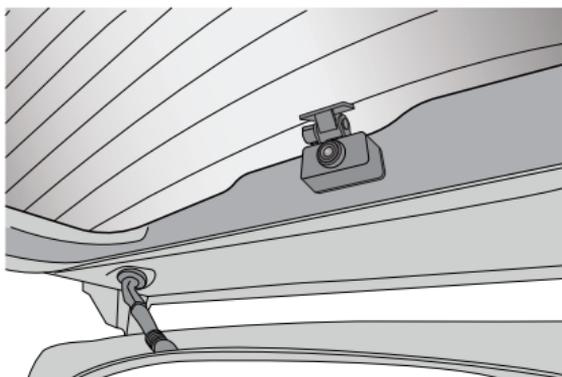
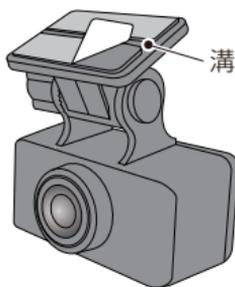
1.リヤカメラの設置場所を決めます。



2.リヤカメラの粘着シートを剥がして、リヤガラスに貼り付けます。

※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりとリヤガラスに貼り付けます

※粘着力を高めるため、リヤカメラ本体を取り付け後、24時間放置することをお勧めします

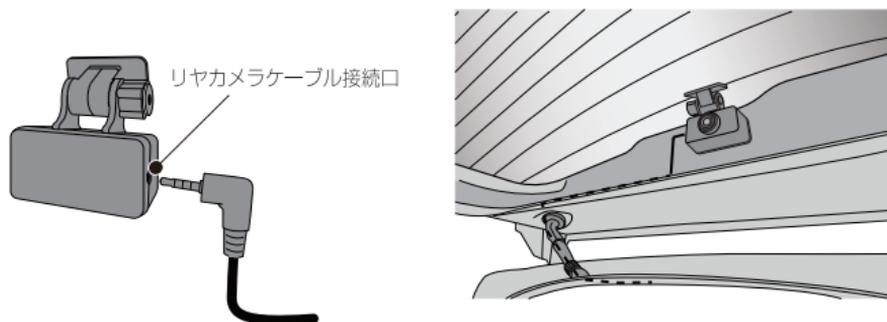


⚠️ ご注意

- リヤカメラの粘着シートはリヤウィンドウ・デフォグガー（電熱線）対策 シールとなります。電熱線を避けてるため、ステー部の溝と電熱線を重ね合わせるようにしてリヤカメラを取り付けてください。

リヤカメラ取り付け（つづき）

3.リヤカメラケーブルの配線をします。



4.バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認してください。

※リヤカメラおよびケーブルが損傷すると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因になります

※実際の映像を確認しながら取り付けをしてください

▼リヤカメラ配線について

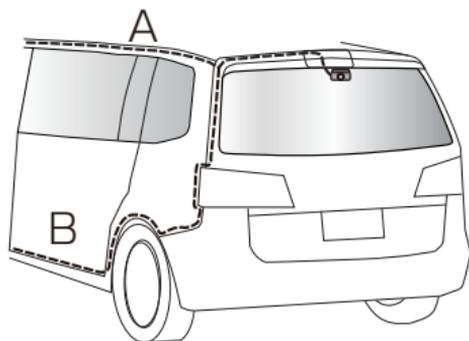
下図イラストでは、

A:車内上側

B:車内下部

の配線を例としています。

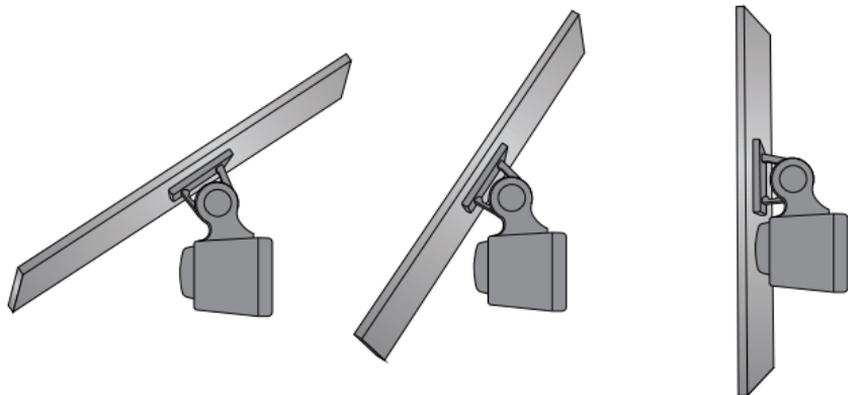
車種（ルーフ形状や内張等）によって、ケーブルの取り回し方が異なりますので、設置の前にご自身のお車に最適な取り回し方をご確認ください。



リヤカメラ取り付け（つづき）

▼リヤカメラ取り付けイメージ

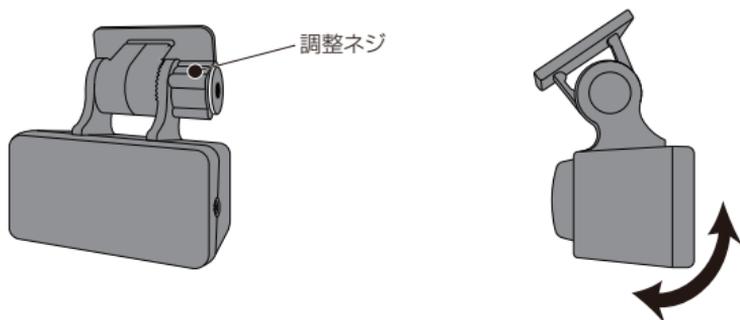
<取り付けイメージ（リヤガラス傾斜パターン）>



車両によってそれぞれリヤガラスの傾斜が異なります

▼リヤカメラ角度変更方法

リヤカメラは調整ネジを緩めて、前後方向の角度を調整することができます。角度が決まったら、調整ネジを締めて固定します。



ご注意

- 必ずステー部分を支えながら角度調整してください。
- レンズ部分に手を触れないでください。
- 運転者は走行中にカメラ調整を行わないでください。
- 調整ネジは強く締めすぎないでください。無理に強く締め付けると破損の原因となります。

リヤカメラ取り付け（つづき）

ご注意

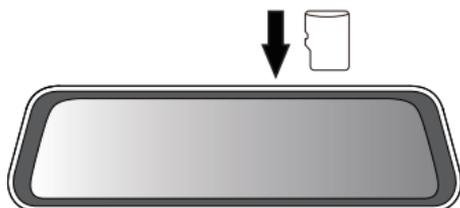
- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないように設置および配線をしてください。
- すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
- 電源がオンの状態でケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。また、本体が自動的に再起動または本体フリーズする場合があります。
- 電源オンの状態で、各種ケーブルや付属品を接続すると、誤動作したり故障する可能性がありますので、おやめください。
- リヤカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してから、取り付けてください。
- リヤカメラケーブルは折り曲がった状態で取り付けをしないでください。ケーブルが断線する恐れがありますので、必ずクリアランスを確保した状態で取り付けを行ってください。
- 取り付け後、両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が後部ガラスにきちんと貼り付いていないと剥がれることがあります。
- 取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- 高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、後部ガラスの各種アンテナに干渉し、テレビやラジオの受信感度が低下する場合があります。その場合は、各種アンテナから50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。
- 各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- 上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

microSDカード

microSDカードの挿入と取り出し

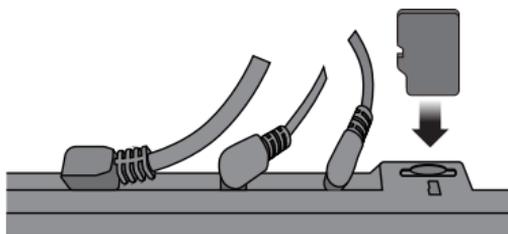
1. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

<本体正面から見た場合>



2. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

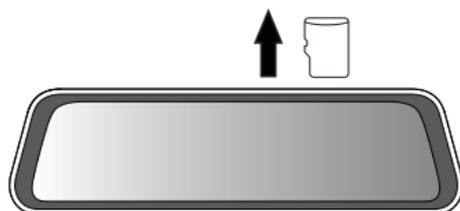
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください



3. microSDカードを取り出す際は、microSDカードを押し込み、microSDカードが少し飛び出してから引き抜きます。

※勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失にご注意ください

<本体正面から見た場合>



microSDカード (つづき)

ご注意

- microSDカードを挿入する際は、正しい向きを確認してから挿入してください。
- 付属品のmicroSDカード以外を使用すると、正しく録画ができない可能性があります。
- microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、microSDカードを抜いて、保管してください。
- 電源オン中にmicroSDカードを抜くことはおやめください。録画データが破損または消去される可能性があります。なお、電源がオン中にmicroSDカードを抜くと、SDカード未挿入エラーが表示されます。

microSDカード (つづき)

microSDカードのフォーマット

本機を初めてご使用になる時は、microSDカードをフォーマット(初期化)してください。フォーマットの手順は下記の通りです。

- 1.同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。
- 2.車のエンジンをオン(ACC ON)もしくは、本機の電源ボタンを操作して、本体を起動します。 →電源の入れ方について「P33 電源オン/オフについて」
- 3.起動すると、自動的に録画が開始されますので、画面をタッチして、カメラファンクション画面に切り替えます。
- 4.カメラファンクション画面の[メニュー]をタッチします。



- 5.[SDカード]をタッチします。

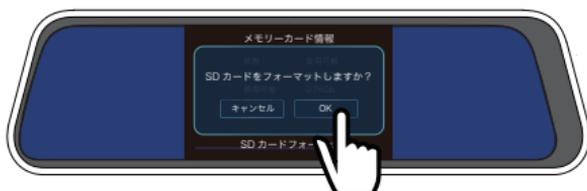


- 6.[SDカードフォーマット]をタッチします。

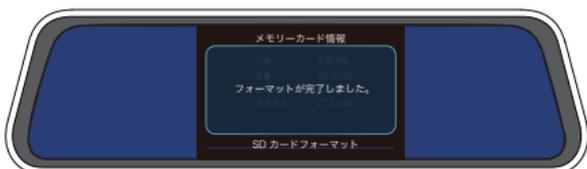


microSDカード (つづき)

7.[OK]をタッチします。



7.フォーマットが完了します。



ご注意

- フォーマット操作は、停車している状態で行ってください。
- フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。
大切なデータはパソコンへコピーして保存をしてください。
- 本機でフォーマットができない場合は、パソコン等で一度フォーマットを行った後、本機でフォーマットを行ってください。
- 新品のmicroSDカードまたは本機で初めて使用するmicroSDカードは、使用前に必ず本機でフォーマットをしてください。

フォーマットフリー

フォーマットフリーについて

本機に搭載された専用ファイルシステムは、パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、記録と削除の繰り返しによるSDカードの断片化を格段に抑えたファイルシステムです。そのため、従来よりもmicroSDカードのフォーマット回数頻度を大幅に減らし、使用することができます。

microSDカードメンテナンスについて

フォーマットフリー採用のため、頻繁なフォーマット作業は不要となりますが、安定的にご使用いただくため、定期的にmicroSDカードのフォーマットをお勧めします。その際、本機でフォーマットを行ってください。パソコン等でフォーマットした場合、使用できない場合や正しく記録できない場合があります。

microSDカード交換時期について

microSDカードは消耗品となります。microSDカードは永久に書き込みや削除の繰り返しをして使用し続けることはできず、限界があります。本機によるフォーマットを実行しても改善が見られない場合はmicroSDカードを新品に交換してください。

▼microSDカード寿命の見分け方

microSDカードの消耗によりデータ記録ができなくなった場合、一旦フォーマットを実行してください。フォーマットを行っても症状が改善されない場合は、microSDカードを新品に交換してください。

→ステータスアイコンについて「P39 ステータスアイコン」

電源オン/オフ

電源オン

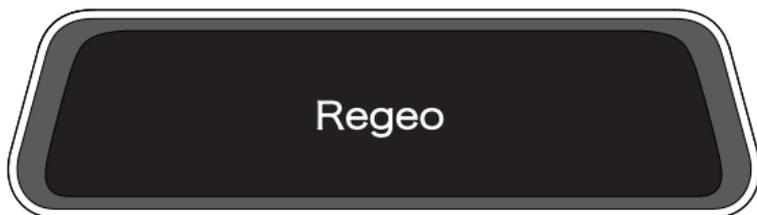
▼エンジン連動

エンジンオン(ACCオン)すると、自動的に電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。
※駐車監視モード中の場合、駐車監視を解除して通常起動します

▼手動による電源オン操作

起動中に本体の[MODE]ボタン長押しで電源オフした後、再度[MODE]ボタンを短押しすると、本機が電源オンとなり、オープニング画面が表示されます。

※エンジンオン状態(ACCオン)かつ意図的に[MODE]ボタンで電源をオフした場合のみ、有効な操作となります



電源オフ

▼エンジン連動(シガー電源アダプター使用時)

エンジンオフ(ACCオフ)すると、本機の電源がオフとなります。

▼エンジン連動(専用常時電源ケーブル使用時)

駐車監視設定が「オン」の場合

▷エンジンオフ(ACCオフ)すると、駐車監視モードに切り替わります。

→**駐車監視モードについて「P60 駐車監視録画」**

駐車監視設定が「オフ」の場合

▷エンジンオフ(ACCオフ)すると、本機の電源がオフとなります。

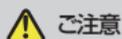
▼手動による電源オフ操作

電源オン時に本体の[MODE]ボタンを長押しすると、本機の電源がオフとなります。

ご注意

- 駐車監視設定が「オン」の場合に、手動による電源オフ操作した場合は、駐車監視モードに切り替わりません。

電源オン/オフ (つづき)



ご注意

<エンジン連動オン機能について>

●本機は、エンジン連動機能が搭載されているため、車のエンジンオンで自動的に電源が入るようになります。また、車のエンジンをオフにすることで、自動的に電源がオフとなります。

※車種によっては、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。あらかじめご了承ください

- 駐車監視機能設定が[オン]の場合は、車のエンジンをオフにすると、駐車監視モードに切り替わります(専用常時電源ケーブル(RDPC-2)接続時のみ)。
- 本機は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、電源ボタンを押して電源を入れるようにしてください。
- お買い上げ時や長期間、本製品をご使用にならなかった等により、本体のスーパーキャパシタの充電不足により、電源オンしても数十秒間電源が入らない場合があります。この場合、約1分程度通電をすると電源が入ります。

<アイドルストップ車での電源オフについて>

- アイドルストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドルストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品が再起動する場合があります(バッテリーや配線を見直しをしてください)。

<電源オフ/オンのタイミングについて>

- 本機の電源をオフした直後は、最終録画ファイルのファイナライズとともに内部メモリ保護回路が働くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフしてから約10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。
- オープニング画面中に電源ボタンを長押しすると本機が再起動する場合がありますが、これは電源保護回路が働くためであり、故障ではありません。

画面モード

画面モード

本機は以下の3つの画面モードがあります。

<カメラモード>

液晶画面にフロントもしくはリヤカメラ映像を表示させることができます。

▼カメラモード（フロント映像）画面



▼カメラモード（リヤ映像）画面



<カメラファンクションモード>

カメラモード中に液晶画面をタッチするとカメラファンクションモードに切り替えることができます。

カメラファンクションモードでは設定操作や各種調整を行うことができます。

<ミラーモード>

液晶画面をオフにします（ルームミラーとして使用します）。

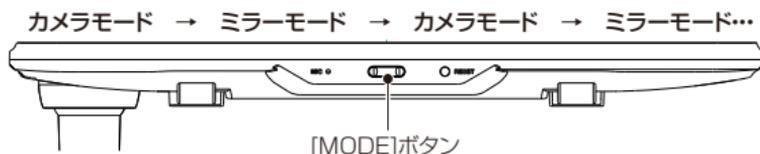


画面モード／カメラモード画面

カメラモードとミラーモードの切り替え

画面モードを切り替えたい場合は、本体下部にある[MODE]ボタンを押して切り替えることができます。

[MODE]ボタンを押すたびに、以下の順番で画面モードが切り替わります。



カメラモード画面

フロントカメラ映像、リヤカメラ映像もしくはフロント／リア映像を表示します。



①録画時間表示

1 ファイルの録画時間を表示します。

②録画中アイコン

録画中にアイコン表示します。※点滅

赤：ループ録画中

黄：緊急録画中

③日時表示

現在の日時を表示します。

④DISPLAY(液晶画面)

映像を表示します。

ミラーモード画面

ミラーモード画面

ミラーモード画面とは、通常のミラー状態のことです。
画面をタッチすると、カメラモード画面に切り替わります。



ご注意

- 本製品は専用の液晶モニターを採用しているため、ミラーの見え方が純正ミラーとは異なる見え方になります。

カメラファンクション画面

カメラファンクション画面表示方法

▼カメラファンクション画面表示方法

カメラモード画面中、液晶画面をタッチするとカメラファンクション画面が表示されます。

▼カメラモード画面



画面をタッチ



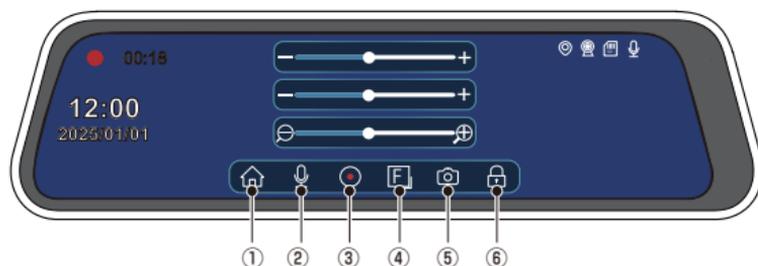
▼カメラファンクション画面



ご注意

- 約5秒間何も操作が行われないと、カメラモード画面に自動的に戻ります。

カメラファンクションボタン



①メニューボタン

メインメニュー画面に切り替えます。

②音声録音切り替えボタン

音声録音のオン・オフを選択します。

- ・オン : 音声録音します
- ・オフ : 音声録音しません

カメラファンクション画面（つづき）

③録画

録画中 : 

録画停止中: 

④カメラ切り替え

フロントカメラ映像、リヤカメラ映像またはフロント/リア映像を切り替えます。

⑤静止画撮影

現在カメラが表示している映像の静止画を撮影します。

※フロントカメラ映像とリヤカメラ映像の静止画撮影を同時に行います

※リヤカメラ映像の静止画は正像になります。

※録画中に静止画撮影を行っても、録画は中断されません

⑥ロック

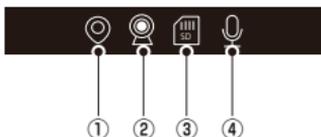
ループ(常時)録画中にタッチすると、緊急録画(マニュアル録画)をおこない、録画ファイルをロックします。

※ロック中に再度このボタンをタッチしても無効となります

→緊急録画について「P46 録画種別」

ステータスアイコン

液晶画面右上にステータス（情報）アイコンが表示されます。



①GPSアイコン

GPSが測位している場合:  ※青色表示

GPSが測位できない場合:  ※白色表示

②リヤカメラアイコン

リヤカメラが接続されている場合:  ※青色表示

リヤカメラが未接続の場合:  ※白色表示

③SDカードアイコン

SDカードが挿入されている場合:  ※青色表示

SDカードが未挿入状態の場合:  ※白色表示

④音声録音アイコン

音声録音がONの場合:  ※白色表示

音声録音がOFFの場合:  ※白色表示

カメラファンクション画面 (つづき)

ファンクションバー

カメラファンクション画面で以下の機能調整をすることができます。



①明るさ調整

DISPLAY (液晶画面) の明るさを調整します。

- ・明るさ UP : 「+」をタッチ(+方向へスライド)する
- ・明るさ DOWN : 「-」をタッチ(-方向へスライド)する

②GAIN 調整

カメラの GAIN (露出) を調整します。

露出を上げることでカメラの明るさをアップすることができます。

※リヤウィンドウがスモークガラスの場合、この機能でお好みの値に調整してください

- ・GAIN UP : 「+」をタッチ(+方向へスライド)する
- ・GAIN DOWN : 「-」をタッチ(-方向へスライド)する

③ズーム調整

DISPLAY 表示の ZOOM を 10 段階で調整することができます。

- ・ズーム IN : 「+」をタッチ(+方向へスライド)する
- ・ズーム OUT : 「-」をタッチ(-方向へスライド)する

⚠️ ご注意

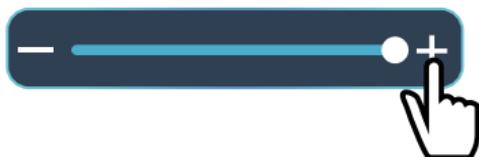
- ズーム調整は倍率を上げるにつれて表示物の画質が粗くなります。
- ズームインで表示している場合であっても、記録される映像ファイルは ×1.0となります。
- 常に明るさを最大値にしておくと、液晶画面の焼きつきが発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- 運転者は走行中に各操作を行わないでください。

カメラファンクション画面 (つづき)

ファンクションバーの操作方法

各機能を調整する場合は以下の方法で調整します。

・+/-をタッチする



・スライダーを左右にスライド(スワイプ)する



メインメニュー画面

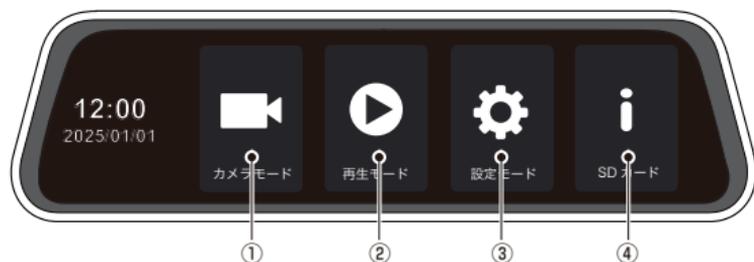
メインメニュー画面表示方法

▼メインメニュー画面表示方法

1. 本体の[メニュー]を押すとメインメニュー画面に切り替わります。



2. メインメニュー画面では、各モード画面へ切り替えることができます。



①カメラモード

カメラモード画面に切り替わります。

②再生モード

再生モード画面に切り替わります。

③設定モード

設定モード画面に切り替わります。

④SDカード

SDカード情報画面に切り替わります。

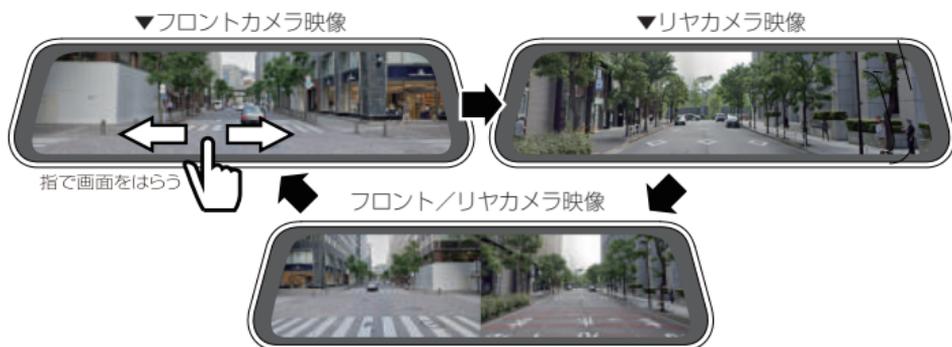
メモ

●メインメニュー画面中は録画を停止します。

液晶画面の操作

カメラ映像の切り替え

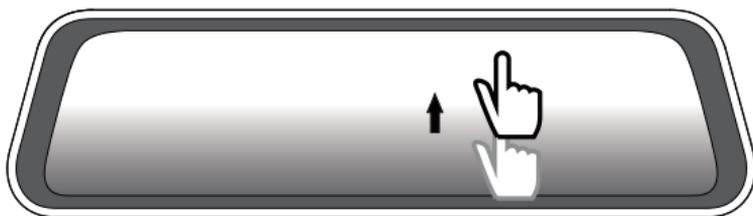
カメラモード画面またはカメラファンクション画面時に液晶部分を左右方向にドラッグすることで、フロントカメラ、リヤカメラ、フロント/リヤカメラ映像を切り替えることができます。



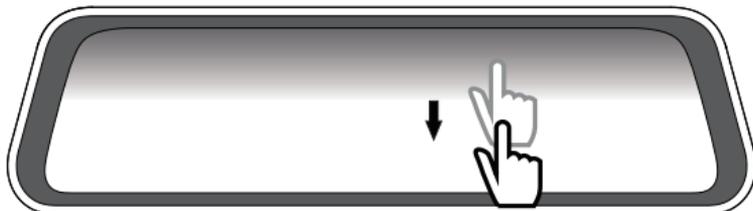
映像表示位置調整

カメラモード画面またはカメラファンクション画面時に液晶部分を上下にドラッグ操作することで、カメラ映像の可視角度を調整することができます。

- 画面下側から上側へドラッグ操作するとカメラ画面が**下向き**に変わる



- 画面上側から下側へドラッグ操作するとカメラ画面が**上向き**に変わる



録画

録画について

エンジンオン(ACC ON)して、本機が起動した時に、自動的にループ(常時)録画を開始します。

録画が行われる画面は以下となります。それ以外の画面中は録画を行いません。

- ・カメラモード画面
- ・カメラファンクション画面
- ・ミラーモード画面
- ・リバース連動画面

⚠️ ご注意

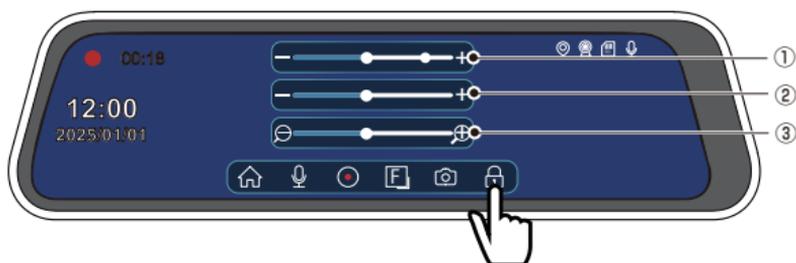
- メインメニュー画面や設定モード画面で何も操作を行わずに約30秒間が経過すると、現在の画面を解除してループ(常時)録画を開始します。
※ファイル再生モード画面、SDカード情報画面を除く

緊急録画操作について

カメラファンクション画面中に[ロック]をタッチすると緊急録画を行います。

また、Gセンサーによる衝撃感知録画が行われると緊急録画を行います。

緊急録画中は「録画中アイコン」が黄色に切り替わります。緊急録画が終了すると、自動的にループ(常時)録画へ切り替わります。



⚠️ ご注意

- 緊急録画中に、録画ボタン、メニューボタンをタッチすると緊急録画が停止します。

録画種別

録画の種類

本機は、「ループ(常時)録画」、「緊急録画」、「緊急録画(手動)」、「駐車監視録画」の録画種別があります。



ループ(常時)録画

ループ(常時)録画は、本機の電源をオン(車両のキースイッチ=ACC ON)にした際、音声アラート(ガイダンス)とともに自動的に録画が開始されます。

ループ(常時)録画



⚠️ ご注意

録画中に電源がOFFとなった場合、設定されているループ録画時間に満たない状態でファイルが保存されます。

▼録画ファイルの上書き

通常録画で録画されたファイルは、「norm」フォルダへ保存されます。

保存先フォルダ内が容量上限に達した時点で、最も古いファイルから順番に上書きして消去し、新しい録画ファイルを記録します。

録画種別 (つづき)

緊急録画

緊急録画は、ループ録画中に本体内蔵のGセンサーにより、車に強い衝撃を感知した場合に作動する「衝撃感知録画」と手動による「緊急録画(手動)」があります。

▼緊急録画(衝撃感知録画)

搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に録画ファイルをロック(保護)します。

※Gセンサーの感度を調整することが可能です

→感度の設定方法について「P63 設定モード」

▼緊急録画(手動)

ループ(常時)録画中に、[ロック]をタッチすると手動による緊急録画を行い、録画ファイルをロック(保護)します。

▼動作条件

設定モード画面内の「衝撃感度」の[低]/[中]/[高]のいずれかを選択している場合に作動します。

[オフ]に設定されている場合は、衝撃感知録画は作動しません(手動による緊急録画は作動します)。

▼録画記録時間

緊急録画が開始された時により、ロック(保護)される動画が異なります。

<緊急録画の動作例>

※動画①→②→③…と録画し続けます

※動画②の時にアクシデントが発生し、Gセンサーが衝撃を感知した場合、緊急録画を開始します

※★は緊急録画の開始時点と考えます

| 動画① | 動画② | | | 動画③ | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----|---------|
| 1分 | 10s ★1 | 40s ★2 | 10s ★3 | 1分 | 録画継続・・・ |

事故発生

★1：動画②の最初から10秒以内に緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2：動画②の最初・最後10秒以外に緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3：動画②の最終10秒以内に緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

録画種別 (つづき)

ご注意

- 緊急録画中はロックボタンをタッチしても緊急録画を解除しません。
- 緊急録画中に再度、衝撃感知した場合でも延長されて録画は行われません。
- 起動直後に緊急録画が発生した場合は緊急録画開始時点の手前数秒間の録画が行われない場合があります。

▼緊急録画ファイルの上書き

緊急録画ファイルは、「emer」フォルダへ保存され、ファイルの上書きがされないように、ファイルロック(保護)されます。

ただし、設定モード画面内の「緊急録画上書き」の設定で緊急録画ファイルを上書きするしないを選択することができます。

設定が[オン]の場合、保存先フォルダ内が容量上限に達した時点で、最も古いファイルから順番に上書きして消去し、新しい録画ファイルを記録します。古い緊急録画ファイルを上書きして録画します。

ご注意

- 保存容量に空きがない場合、緊急時に録画ができなくなります。大切なファイルは定期的にバックアップをして、空き容量を確保するようにしてください。
- SD容量が上限に達した場合、容量上限に達する旨の注意喚起ガイダンスが発生します。その場合、microSDカードのファイルを削除もしくはフォーマットを行い、容量を確保するようにしてください。
- ファイルロック(保護)されている録画ファイルは、削除操作もしくはフォーマットを行うと削除されますので、大切なファイルはバックアップするようにしてください。
- 緊急録画上書きを[オン]に設定している場合、緊急録画ファイルが上書きされてしまうため、大切なファイルはパソコンなどでバックアップをしてください。

▼緊急録画終了

緊急録画が終了すると、通常のループ録画に切り替わります。

※この場合、ループ録画が開始された時の音声発話はしません

ご注意

- 緊急録画が終了した時点で再度緊急録画が開始された場合、直前の緊急録画ファイルと重複する場合があります。

録画種別 (つづき)

駐車監視録画

駐車監視録画は、本機の電源をOFF(車両のキースイッチ=ACC OFF)にした際、本機内蔵のGセンサーにより、車に強い衝撃を感知した場合に作動する「衝撃感知録画」により、エンジンオフ状態の駐車時にも監視録画を行うことができます。

※手動で電源ボタンを押して電源を「OFF」にした場合は、駐車監視録画を作動させることはできません

▼動作条件

以下の条件が揃っている場合、駐車監視録画を行うことができます。

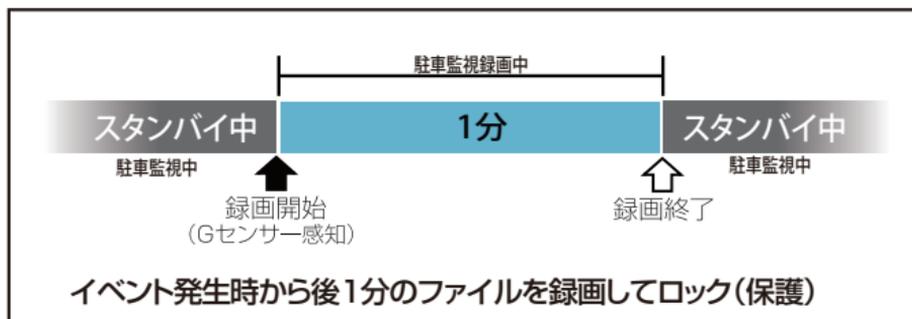
- ・別売の専用常時電源ケーブル「RDPC-2」が接続されている
- ・設定モード画面内の「駐車監視録画」設定を[オン]に選択している

▼衝撃感知の感度

設定モード画面内の「衝撃感度」で設定されている感度により作動します。
衝撃感知は本体で感知します。

▼駐車監視記録時間

駐車監視中の録画時間は、衝撃を感知してから1分録画を行います。



⚠️ ご注意

- 録画中に電源がオフとなった場合、電源がオフされるまでの間をファイル保存します。
- 駐車監視録画が終了した時点で再度、駐車監視録画が開始された場合は、直前の駐車監視録画ファイルと録画内容が重複する場合があります。
- 駐車監視録画中に再度、衝撃感知した場合でも延長されて録画は行われません。
- 衝撃感知前の録画は行われません。

録画種別（つづき）

▼録画ファイルの上書き

駐車監視録画で録画されたファイルは「parking」フォルダへ保存されます。
→フォルダについて「P50 録画ファイル」

ご注意

- 空き容量を確保するには、「再生モード」からファイルを削除して、定期的に空き容量を確保するようにしてください。
- ファイルロック（保護）されている録画ファイルは、削除操作もしくはフォーマットを行うと削除されますので、大切なファイルはバックアップするようにしてください。

静止画撮影

ループ録画中または緊急録画中にファンクションボタン内にある「静止画撮影」ボタンをタッチすることでカメラ画面に表示されている風景を静止画撮影することができます。

▼静止画ファイルの上書き

静止画撮影されたファイルは「photo」フォルダへ保存され、ファイルは上書きされます。

ご注意

- 静止画撮影ファイルは上書き保存されます。大切なファイルは定期的にバックアップしてください。
- ファイルロック（保護）されている録画ファイルは、削除操作もしくはフォーマットを行うと削除されますので、大切なファイルはバックアップするようにしてください。

録画ファイル

保存先フォルダ

各録画機能で撮影された録画ファイルは以下のフォルダ構成の通り、録画ファイルごとに指定のフォルダへ保存されます。また、ファイル名は日付、録画種別、カメラ種別をもとにしたファイル名で保存されます。

microSDカード内のフォルダ構成

| | |
|-----------|------------------|
| emr | 緊急録画 (フロントカメラ) |
| emr_b | 緊急録画 (リヤカメラ) |
| norm | ループ録画 (フロントカメラ) |
| norm_b | ループ録画 (リヤカメラ) |
| parking | 駐車監視録画 (フロントカメラ) |
| parking_b | 駐車監視録画 (リヤカメラ) |
| photo | 静止画撮影 (フロントカメラ) |
| photo_b | 静止画撮影 (リヤカメラ) |

ご注意

- パソコンのOSや設定等によって上記の並び順と異なる場合があります。
- 隠しファイル表示設定をされている場合、「.MISC」、「.pre」という拡張子のファイルが表示される場合があります。これらのファイルは本体システム情報ファイルであり、削除や移動をすると映像ファイルが再生できなくなりますので、ご注意ください。

保存先フォルダと上書き

録画ファイルと各ファイルの保存先については以下の通りとなります。

| | | |
|-------------|--------------|----------|
| ループ (常時) 録画 | norm フォルダ | 上書きされる |
| 緊急録画 | emr フォルダ | 選択可能 (※) |
| 駐車監視録画 | parking フォルダ | 上書きされる |
| 静止画 | photo フォルダ | 上書きされる |

※緊急録画上書きの設定方法について「P63 設定モード」

録画ファイル（つづき）

録画ファイルのファイル名

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。
フロントカメラ映像とリヤカメラ映像はファイル名が異なります。
また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

2025_01_01_203010_00.b.MOV

記録日付

記録時間

カメラ種別

- ・フロントカメラ=なし
- ・リヤカメラ=b

ファイル拡張子

※静止画ファイルの場合、拡張子は「.JPG」

SDカード占有率

microSDカードの各録画ファイルの占有率は以下となります。

| | ループ録画 | 緊急録画 | 駐車監視録画 | 静止画 |
|---------------|-------|------|--------|-----|
| microSDカード占有率 | 59% | 25% | 15% | 1% |

※上記は理論値のため、目安となります（システムデータ領域も含まれます）

録画ファイル（つづき）

ご注意

- 必要に応じて、ファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップし、microSDカードのフォーマットをおこなってください。
→microSDカードのフォーマット方法について「P30 microSDカード」
→録画ファイルの消去方法について「P53 再生メニュー」
- 本機でフォーマットされていない新規のmicroSDカードを挿入すると、フォーマットを促す画面が表示されます。※SDカードによっては表示されない場合があります
- リヤカメラが接続されていない場合、フロントカメラのみの映像ファイルが保存されます。
- 静止画ファイルが保存される「photo」フォルダは、ファイル容量が上限に達しても上書します。大切な静止画ファイルは必要に応じて、定期的にファイルをパソコンに保存するようにしてください。
- 容量オーバーアラートが発生したときに緊急録画が行われた場合、録画ファイルは「norm」フォルダへ保存されますので、ご注意ください。
- 駐車監視録画で保存される「parking」フォルダは、ファイル容量が上限に達しても上書します。
- 大切なデータは、上書きされないよう、あらかじめパソコン等にバックアップしてください。

再生メニュー

再生メニュー画面表示方法

メインメニューから「再生モード」をタッチすると再生メニュー画面を表示します。

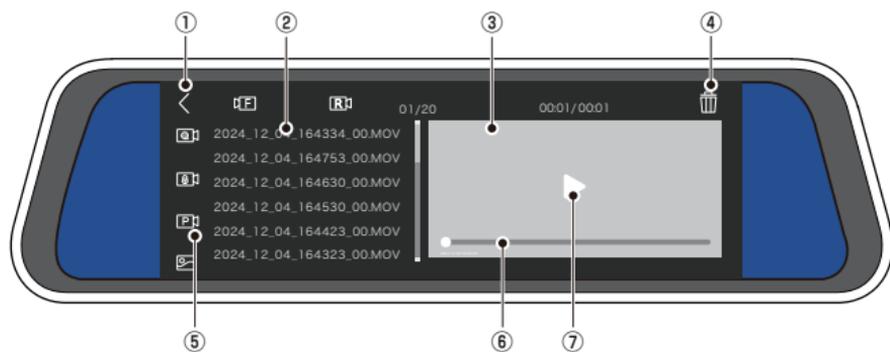
▼メインメニュー画面



▼再生モード画面



再生モード画面内容



①バックボタン

メインメニューへ戻ります。

②ファイル名

録画種別で選択された記録ファイルを一覧表示します。
ドラッグ操作でページを切り替えることができます。

③再生画面

選択された映像ファイルを表示します。

④ファイル操作アイコン

ゴミ箱ボタン: 選択されたファイルを削除します

※ロックされているファイルでも削除できません

※削除したファイルは復旧できませんので、ご注意ください

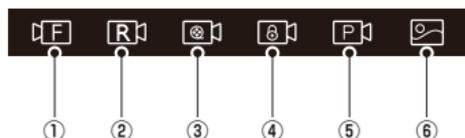
再生メニュー（つづき）

⑤ 録画種別ボタン

ループ録画や緊急録画などの録画種別を選択します。

⑥ プログレスバー

再生中の経過時間とファイル時間を表示します。



① フロントカメラ映像

② リヤカメラ映像

③ 通常録画

④ 緊急録画

⑤ 駐車監視録画 ※別売の駐車監視ケーブル使用時

⑥ 静止画

⑦ 再生/停止ボタン

選択された映像ファイルを再生/停止します。

ご注意

- 再生モード画面中に本体が衝撃を感知しても、緊急録画は行われません。
- ループ(常時)録画ファイルがロック(保護)された場合、「緊急録画」フォルダへ移動します。
※ここでいう「ロック」とは、録画時に上書きするしないという意味ではなく再生モード画面でのファイル削除に対するロック(保護)となります
- 緊急録画と駐車監視録画で記録されたファイルを削除する場合は、ロック解除する必要がなく、[ゴミ箱]ボタンで削除ができます。
- ファイルを削除した場合、フロント映像ファイルとリヤ映像ファイルがセットで削除されます。

リバース連動

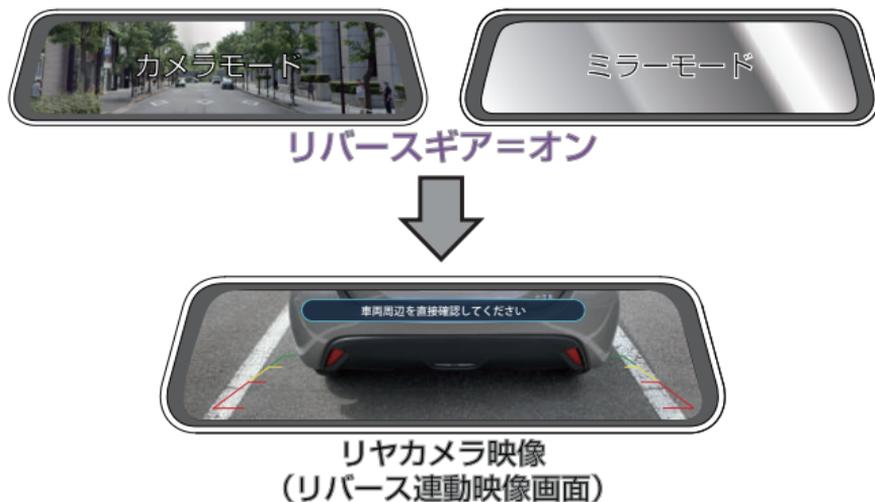
リバース連動とは

車両のリバース信号がオンになった際(バックギアに入れた場合)、自動的にリヤカメラ映像を表示させる機能です。リバース連動の動作条件を満たしている場合は、画面モードがどの画面モードであっても、自動的にリヤカメラ映像に切り替わります。

また、リバース連動が作動した場合、リヤカメラの映像表示角度をお好みの角度に調整することが可能です。

※通常のカメラモード(リヤカメラ映像)とリバース連動したリヤカメラ画面では、画面の扱いが異なります

リバース連動操作方法



▼リバース連動映像画面表示方法

- 1.リバース(バック)ギアをオンにする
- 2.自動的にリヤカメラ(リバース連動映像画面)に切り替わる
※画面モードがどの状態であっても、自動的に切り替わります

▼動作条件

リバース連動機能を使用するには、リバース信号線を車両のリバース信号に接続する必要があります。

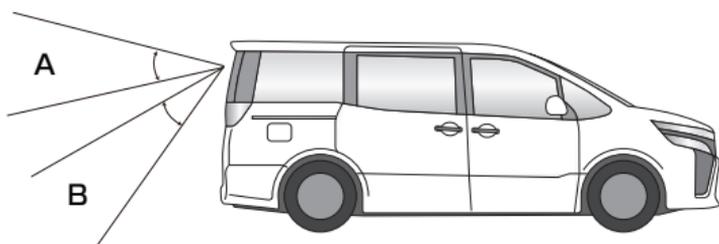
→接続配線図について「P18 取り付け」

リバース連動（つづき）

リバース連動時の映像表示について

通常のカメラモード(リヤカメラ映像)で表示されている画面表示位置(画面角度)とリバース連動で表示されるリヤカメラの映像画面表示位置(角度)は、別の角度で表示させることが可能です。

例えば、カメラモードのリヤカメラ映像は後方の車両を表示する角度にして、リバース連動時のリヤカメラ映像は、一般的なバックカメラと同じように下向きに表示する角度に調整して、使い分けることができます。そのため、後退する際、障害物などが確認しやすくなります。

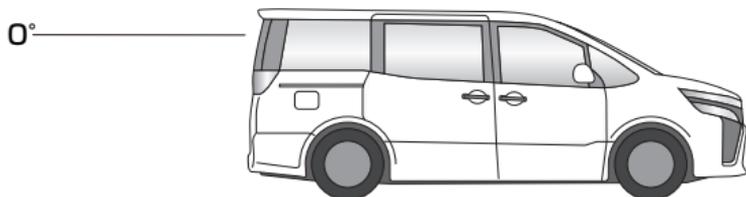


- A:カメラモード(リヤカメラ映像表示角度)
B:リバース連動で表示される映像表示角度

リバース連動時の角度メモリについて

リバース連動時のカメラ表示位置(角度)は、通常のカメラモード(リヤカメラ映像)の表示位置(角度)と別々にメモリ保存することができます。

- ※設定された後、エンジンを一度オフして、再度次回起動した場合は、設定された表示角度で表示されます
- ※工場出荷状態にした場合は、メモリ保存は初期化され、初期表示位置に戻ります
- ※初回起動時や工場出荷状態にした場合、リバース連動時のカメラ角度の初期値は、リヤカメラを水平状態で中心を 0° と考えた場合、 0° となります



リバーズ連動（つづき）

リバーズ連動時の映像表示角度調整について

リバーズ連動で表示されるカメラ表示の角度を変更する場合は、以下の方法で設定をしてください。一度設定すると、初期化しない限り表示角度をメモリ保持（設定記憶）します。

▼映像表示角度変更方法

リバーズ連動によるリヤカメラ映像画面中に、画面を直接ドラッグ操作して映像表示角度を変更することができます。



⚠ ご注意

- リヤカメラの取り付け位置によっては、角度調整を行ってもリバーズ連動した際、画面表示位置(角度)が下方向をカバーできない場合があります。その場合は、リヤカメラの取り付け位置やリヤカメラ自体の取り付け角度を調整してください。

リバース連動（つづき）

リバース連動時のリバースガイドライン表示について

リバース連動した際、後退時のリバースガイドライン(目安線)を表示することができます。

▼リバースガイドライン表示方法

下図の「表示」をタッチすることで、リバースガイドラインを[表示する]・[表示しない]を選択することが可能です。カメラを取り付ける車種によって、ガイドラインを変更して、適切な表示に設定してください。

→リバースガイドライン設定について「P59 リバースガイドライン調整方法」



⚠️ ご注意

- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ガイドラインはあくまで補助的な目印となります。
- 車種によっては、ガイドラインが正しく合わない場合があります。

リバース連動（つづき）

リバース連動時のリバースガイドライン調整について

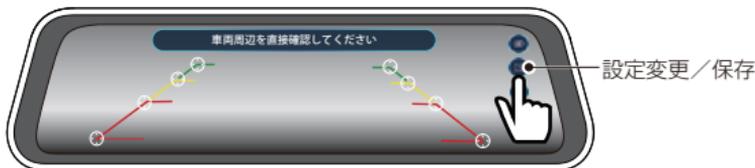
リバースガイドライン（目安線）を調整することができます。

▼リバースガイドライン調整方法

1. ガイドライン調整画面に切り替えます。
2. 「設定変更／保存」をタッチします。
3. ○印が表示されます。マークされている各頂点を直接ドラッグして、ガイドラインの幅や高さを調整します。



4. 調整が完了したら、「設定変更／保存」をタッチして、調整値を保存します。



5. 調整値を初期値に戻す場合は、「調整クリア」をタッチします。



⚠️ ご注意

- それぞれの調整を行う場合は、必ず、安全な場所に停車し、サイドブレーキを確実に引いた状態かつ周囲の安全を確かめた上で行ってください。
- 走行中は、絶対に操作をしないでください。
- 本書の注意事項を含め、上記を守られないことによる事故や損害について、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

駐車監視録画

駐車監視モードについて

- 本機は電源をオフにした後も別売の常時電源ケーブル(RDPC-2)を接続することにより、エンジンオフ後の駐車中でも衝撃を感知すると衝撃感知録画を行う「駐車監視モード」機能が搭載されています。

駐車監視時の衝撃感知録画について

- 車両エンジンをオフ(ACCオフ)すると、「駐車監視録画スタンバイ」状態となります。駐車監視録画スタンバイ状態中、搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知録画(駐車監視中の衝撃感知録画)を行います。
- 録画終了後は、再び、駐車監視録画スタンバイ状態に移行します。
- 車両エンジンオン(ACCオン)すると、駐車監視モードを解除され、本機の電源オン後、ループ(常時)録画が開始されます。

駐車監視設定について

- 駐車監視録画を行うには、設定メニューの「駐車監視録画」を[オン]に設定してください。
※[オフ]の場合は、駐車監視モードに切り替えることができません。
→駐車監視設定方法について「P63 設定モード」

駐車監視録画中の液晶画面について

- 駐車監視録画中は、液晶画面に何も表示されず、ミラー画面状態のままとなります。
※画面をタッチしても液晶表示されません。
※駐車監視録画スタンバイ状態中に衝撃を感知すると、一時的に映像が表示されます。

駐車監視録画時の発話について

- 駐車監視録画時は、録画開始のガイダンス発話等はしません。

駐車監視中の操作について

- 駐車監視録画中にリセットボタンでリセットを行なった場合、バッテリー電圧で本体が起動している状態となります。バッテリー上がりを防ぐために、一度エンジンをオンしてからエンジンをオフしてください。

駐車監視録画（つづき）

駐車監視モードの流れ

① 駐車監視モード設定をオンにする



設定モード内の「駐車監視録画」の設定を[オン]にする

② 車両のキースイッチ(ACC)をオフにする



車両のアクセサリを[OFF]にする

※本体の電源ボタンで[オフ]にした場合は駐車監視機能は作動しません



③ 駐車監視モード作動(駐車監視スタンバイ中)

液晶画面は画面消灯となります



④ 衝撃感知

駐車監視録画

※録画が終了すると、スタンバイ状態に戻ります



⑤ 車両のキースイッチ(ACC)をオンにする(駐車監視モード終了)

オープニング画面表示後、起動します



⑥ ループ(常時)録画を開始する

ループ録画を開始します。

駐車監視録画(つづき)

ご注意

- 駐車監視録画中に再度衝撃を受けた場合であっても、録画の延長はされません。駐車監視モード時の衝撃感知録画は、衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は行いません
- 駐車監視の衝撃感知録画ファイルは「parking」フォルダに保存されます。
- 駐車監視の衝撃感知録画中にエンジンオン(本体電源ON)した場合は、緊急録画を中断し、本体が再起動します。
- 駐車監視モードの衝撃感知センサーレベルは、ループ録画での衝撃感知による感度と同じ設定値となります。
- 駐車監視モード中(駐車監視録画スタンバイ状態および衝撃感知録画中)は、本機の液晶画面は表示されません(液晶オフ状態となります)。
- 駐車監視録画スタンバイ時に駐車監視状態をオフにしたい場合は、一度、エンジンオンして、設定モードから「駐車監視録画」設定の[オフ]を選択してください。
- 設定メニューの「駐車監視録画」設定を[オフ]にすると、エンジンをオフしても駐車監視録画スタンバイ状態に移行されません。
→**駐車監視設定方法「P63 設定モード」**
- ドアの開閉時の振動を検出して、駐車監視録画(衝撃感知)が作動することがあります。
- 衝撃を感知するのは本体(ミラー本体)に搭載されているGセンサーとなります。リヤカメラによる衝撃感知の機能は働きません。
- 常時電源ケーブルで使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- 次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでの使用には十分ご注意ください。
 - ▶ 毎日走行しない場合
 - ▶ 1日の走行が1時間以下の場合
 - ▶ 車両バッテリーを1年以上使用している場合※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- 常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- 駐車監視モード時の衝撃感知録画回数はmicroSDカードの空き容量や車両バッテリーのコンディションに依存します。
※常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、駐車監視機能が途中で終了してしまう場合があります
※録画環境などの条件により録画回数や録画ファイル数は変動します

設定モード

| 設定タブ | 設定項目 | 設定値 | |
|-----------|---------|---|---|
| 録画設定 | 衝撃感度 | OFF | Gセンサーをオフにします(衝撃は検出しません) |
| | | 低 | 低: 衝撃を検出しにくくなります |
| | | 中 | 中: 通常のセンサーで衝撃を検出します |
| | | 高 | 高: 衝撃を検出しやすくなります |
| | 緊急録画上書き | ON | 緊急録画および駐車監視モード時の衝撃感知録画ファイルがSDカードの保存占有率が上限に達した時、すでにあるファイルを上書きして録画を継続するか、上書きはせずにファイルをロック(保護)するかを選択します。 ON(上書きする) : 自動的に古いファイルを削除して、新しいファイルを保存します。 |
| | | OFF | OFF(上書きしない) : 「emr」・「parking」フォルダのファイルを上書きしません。 ファイルが上限に達した時、緊急録画や駐車監視モード時に衝撃感知をすると録画を行います、 「norm」フォルダへ保存されます。 |
| | 駐車監視録画 | ON | 駐車監視録画を行います。 ※専用の常時電源ケーブルが接続されている場合のみ |
| | | OFF | 駐車監視録画を行いません。 |
| | マイク | ON | 音声を録音します。 |
| | | OFF | 音声は録音せず、映像のみを記録します。 |
| | フリッカレス | 50Hz | ちらつきを防止します。 |
| | | 60Hz | 50Hz : 東日本 60Hz : 西日本 |
| | タイムスタンプ | ON | 映像ファイルに日時を記録するか設定します |
| | | OFF | ON : 記録する OFF : 記録しない |
| | 日時表示 | ON | 日時を表示する |
| | | OFF | 日時を表示しない |
| リヤカメラ鏡像表示 | ON | リヤカメラの映像表示を正像または鏡像に設定します。 | |
| | OFF | ON : 鏡像 OFF : 正像 ※記録されるファイルは全て正像となります | |
| リバース連動 | ON | リバースギアをオンにした際、画面にリバース連動表示する | |
| | OFF | リバースギアをオンにした際、画面にリバース連動表示しない | |
| ガイドライン調整 | > | リバース連動調整画面に切り替えます。 → リバースガイドライン設定について [P59] | |

設定モード（つづき）

| 設定タブ | 設定項目 | 設定値 | |
|--------|-------|--------------------------|---|
| システム設定 | 操作音 | ON | 本体の操作音を出力します |
| | | OFF | 本体の操作音を出力しません |
| | 音量調整 | 1-15 | 操作音や再生ファイルの音声を調整します。 |
| | 言語 | 日本語 English 中文 | 本体の表示言語を設定します。 |
| | 日時設定 | — | 手動で日時を設定します。 ※GPSが測位できない場合に使用します。GPSが測位した場合、手動で設定した日時は無効となり、GPSからの日時情報を表示します |
| 初期化 | OK | 本体の設定をリセットし、工場出荷状態に戻します。 | |
| | キャンセル | ※SDカードは初期化されません | |
| GPS情報 | — | — | GPS情報を表示します。 |
| システム情報 | — | — | システム情報を表示します。 |

ご注意

- 設定モード画面中、約30秒間何も操作が行われないと、自動的にメインメニュー画面へ戻ります。
- 設定モード画面中は録画を行いません。

SDカード情報

メインメニューの「SDカード」をタッチすると、SDカード情報画面を表示することができます。この画面では、SDカードの情報確認、フォーマット操作をすることができます。



①SDカードフォーマット

SDカードのフォーマット(初期化)を行います。

→SDカードフォーマット操作方法について「P30」

②SDカード情報

本体に挿入されているSDカードの情報を表示します。

ご注意

- フォーマット操作は、停車している状態で行ってください。
- フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。大切なデータはパソコンへコピーして保存をしてください。
- 本機でフォーマットができない場合は、パソコン等で一度フォーマットを行った後、本機でフォーマットを行ってください。
- 新品のmicroSDカードまたは本機で初めて使用するmicroSDカードは、使用前に必ず本機でフォーマットをしてください。
- その他、microSDカードに関する説明は「P1」をご参照ください。

PCビューワー

専用再生アプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生することができます。

PC動作推奨環境

| | |
|--------|--|
| 対応OS | Microsoft® Windows® 10 (64bit) |
| CPU | 2.2GHz以上で2コア以上のCPU |
| メモリ | RAM 8GB(DDR3) 133MHz 以上 |
| HDD | 100MB以上の空き容量が必要 |
| ディスプレイ | 1920x1080以上の解像度で表示可能なディスプレイ |
| 対応ブラウザ | Microsoft® Internet Explorer® 10以降 |
| その他 | .NET Framework 4.5以上 ※インストール時、使用時ともにシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります ※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください ※シンボリックリンクでの動作保証はしておりません ※インターネット環境が必要となります ※オフラインでも再生操作等は可能ですが、地図表示や地図との連携および本ソフトの更新はできません |

PCビューワーソフトについて

PCビューワーのマニュアルについては、ホームページでご覧になることができます。

https://innovativesale.co.jp/link/goods/regeo/manual/SRZ-924_PCViewer_Manual_202412.pdf



ご注意

- Macには対応していません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 機能改良のため、PCビューワーソフトのアップデートを行う場合があります。詳しくはホームページを参照ください。
※地図表示等が変更される場合があります。あらかじめご了承ください
- パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- 上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコン、OSでの動作を保証するものではありません。
- OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- 自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。
- 仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|-------------------|--|---|
| 電源が入らない | ●シガーアダプターの接続不良の可能性があります。 | ●シガーアダプターを一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーソケットに確実に差し込まれているかを確認してください。 |
| | ●分岐ソケットを使用していませんか？ | ●シガーアダプターを分岐されたソケットに接続すると、火災や故障及び誤動作の原因になります。 |
| | ●付属のシガーアダプターを使用していますか？ | ●付属のシガーアダプター以外の電源を使用しないでください。火災や感電及び誤動作の原因になります。 |
| | ●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。 | ●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。 |
| 誤動作をする | ●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。 | ●電源をオフオンしてください。 |
| 録画したはずのファイルがない | ●ループ（通常）録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。 | ●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。 |
| 液晶画面にドット抜けがある | ●液晶パネルの特性です。不良ではありません。 | — |
| 録画できない | ●microSDカードが本体に挿入されていますか？ | ●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。 |
| | ●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？ | ●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。または、再度microSDカードの抜き差しをおこなってください。 |
| 操作音や音声ガイダンスが鳴動しない | ●本体音量がオフになっていませんか？ | ●設定メニューの「音量調整」の設定を確認してください。 |
| GPSが受信できない | ●GPS電波が受信しづらい場所を走行していませんか？ | ●トンネル内やビル谷間の谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。 |
| | ●本機を起動したばかりではありませんか？ | ●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります。しばらく経ってから再度確認してください。 |
| | ●内蔵GPSが受信できない車内環境ではありませんか？ | ●純正ミラーの取り付け方を見直してください。 ●車種によっては、GPSが受信しにくい可能性があります。 |

トラブルシューティング (つづき)

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|------------------------------------|---|---|
| GPSが受信できない | ●工場出荷をした直後ではありませんか？ | ●GPS受信ができていない状態で、工場出荷設定に戻した場合、GSP受信するのに約2分程度かかる場合があります。 |
| 再起動する 場合がある | ●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。 | ●車両の電圧を確認してください。 |
| | ●電源が入っている時に、各ケーブルの抜き差しをすると、本体が再起動または電源オフとなる場合があります。 | ●電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。思わぬ動作となる場合や故障する場合があります。 |
| 信号機表示が 消えてしまう | - | ●映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。 |
| 緊急録画が 頻繁におこな われる | ●衝撃感知の感度の設定が適切ではない可能性があります。 | ●設定メニューの「衝撃感度」から設定を変更してください。 |
| 他の車載機に 影響が出る (テレビが映ら ない等) | ●取付場所はアンテナ、レーダーなどに50cm以内に位置していませんか？ | ●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。 |
| 画面が表示し ない | ●駐車監視モードではありませんか？ | ●駐車監視モード時は画面表示しません。また、MODEボタンも無効となります。 |
| 画面が ちらつく | ●電源供給が不安定な可能性があります | ●付属品のシガー電源アダプターを使用してください。 ●分岐されたシガーソケットを使用している場合は、直接車両のシガーソケットに差し込んで使用してください。 |
| | ●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。 | ●各ケーブルの接続を見直してください。 |

トラブルシューティング (つづき)

| 症状 | 原因 | 対処方法 |
|--------------------|---|--|
| リヤカメラが表示しない | ●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。 | ●リヤカメラは接続されていますか。 ●各ケーブルの接続を見直してください。 |
| microSDカードエラーが発生する | ●定期的にmicroSDカードをフォーマットしていますか？ ●microSDカードが正しく挿入されていますか？ ●microSDカードが破損している可能性があります。 ●microSDカードに異常が発生している可能性があります。 | ●microSDカードをフォーマットしてください。 ●microSDカードを正しく挿入し直してください。 ●microSDカードを交換してください。 ●パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。 ●本機を再起動してください。 ※microSDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください |
| フォーマットができない | ●microSDカードに異常が発生している可能性があります。 | ●パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。 ●microSDカードを交換してください。 ※microSDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください |

ご注意

本機は使用していない状態が長時間続くと、スーパーキャパシタが放電されますので、初めてお使いになられる場合や長期間ご使用されなかった場合は、必ず付属のシガー電源アダプターを車両のシガーソケットに差し込み、十分に充電してからご使用ください。

なお、充電時間が短い場合、電源が入らないまたは電源が入っても起動中に電源が落ちてしまう、画面がチラついて見える場合がありますのでご注意ください。
※充電時間の目安は約 5 分となります（温度環境により誤差があります）

エラーメッセージ

| 主なエラーメッセージについて

| メッセージ内容 | 原因 | 対処方法 |
|--|--|---|
| SDカードが挿入されていません。 SDカードを確認してください。 | microSDカードが挿入されていないか、microSDカードが読み取れない状態になっています。 | microSDカードを挿入してください。 ※付属品のmicroSDカード以外を使用すると、認識できない場合があります |
| SDカードエラーです。 SDカードをフォーマットしてください。 | microSDカードが読み取れない状態になっています。 | microSDカードを確認してください。 microSDカードが破損している可能性があります。microSDカードをフォーマットしてみてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください ※付属品のmicroSDカード以外を使用すると、読み書きができない場合があります |
| 緊急録画ファイルが上限に達しました。 ファイルを確認してください。 | EVENTフォルダがいっぱいになっています。 | 対象のフォルダにある録画ファイルを削除するか、microSDカードをフォーマットしてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください ※緊急録画上書きの設定を見直してください（古いファイルが上書きされ、消去されるため、設定については十分ご注意ください） |
| まもなく緊急録画ファイルが上限に達します。 SDカードを確認してください。 | EVENTフォルダがまもなくいっぱいになります。 | 対象のフォルダにある録画ファイルを削除するか、microSDカードをフォーマットしてください。 ※フォーマットすると、全てのファイルが消去されますので、ご注意ください |
| リヤカメラが検出できません。 リヤカメラの接続状態を確認してください。 | リヤカメラが未接続の可能性があります。 | リヤカメラが正しく接続できているか確認してください。 |

その他

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマット（SDカード内を初期化すること、もしくはオートフォーマットを実行すること）をお勧めします。

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています

→microSDカードフォーマットについて 「P30 microSDカード」

別売品

●常時電源ケーブル(製品型番:RDPG-2)

- ・ 駐車監視時の衝撃感知録画をより多くの回数で録画をしたい場合など、常時電源ケーブルをお買い求めください。
- ・ 専用常時電源ケーブルは、常時電源（バッテリー）、アクセサリ、アースの接続が必要となります。取り付けには、専門の知識と技術が必要となりますので、販売店や専門技術者へ依頼してください。
- ・ 本ケーブル以外は使用できません。
- ・ 正しく接続しないと、車両バッテリー上がりや駐車監視機能が動かなくなる場合や期待した動作にならない場合がありますので、必ず接続を確認してください。

<ご注意(あらかじめご了承ください)>

- ・ 常時電源ケーブルをご使用の際、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。
- ・ 定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・ 次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルでのご使用には十分ご注意ください。
 - ▶ 毎日走行しない場合
 - ▶ 1日の走行が1時間以下の場合
 - ▶ 車両バッテリーを1年以上使用している場合
 - ※ 上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- ・ 常時電源ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間（録画回数）が少なくなる場合があります。
- ・ 専用常時電源ケーブルを使用したことによる車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 車両のシステム（ハイブリッドシステムや電気自動車等）によっては、期待した動作にならない場合があります。

その他 (つづき)

<常時電源ケーブル(RDPC-2)接続時の動作について>

▶駐車監視の設定が[オフ]の場合:

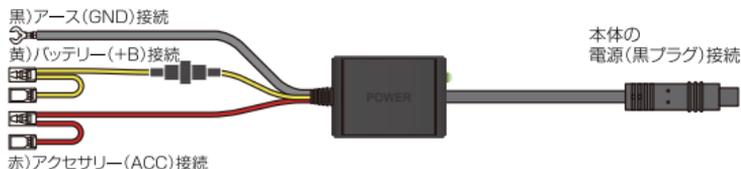
エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

▶駐車監視の設定が[オン]の場合:

エンジンを停止すると、駐車監視モードに切り替わります。

駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が12V (12V車) /23.6V (24V車) に降下すると、車両バッテリーからの電源供給を停止し、駐車監視モードは終了します。

! 常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。



日時保持期間について

本機はGPS受信機を搭載していますが、GPSの受信ができない環境が長時間続いた場合、内部の時計保持機能がリセットされる場合があります。

その場合、GPSが受信できる環境へ移動すると、正確な日時を取得・表示することができます。

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

microSDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとmicroSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折り含む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

製品仕様

| | | |
|-------------------|---|---|
| 品番 | SRZ-924 | |
| 商品名 | デジタルバックミラー（ドライブレコーダー機能搭載） | |
| 液晶 | 9.66 インチタッチパネル IPS 液晶（1280×320） | |
| 記録媒体 | microSD カード（32GB Class10 同梱） | |
| レンズ(フロントカメラ) | イメージセンサー 記録画角 F値 フレームレート | 1/2.9 型 CMOS センサー 対角：130°/ 水平：115°/ 垂直：59° 2.0 27.5fps |
| レンズ(リヤカメラ) | イメージセンサー 記録画角 F値 フレームレート | 1/2.9 型 CMOS センサー 対角：124°/ 水平：110°/ 垂直：57° 2.4 27.5fps |
| 動画記録解像度(フロントカメラ) | 1080P(1920×1080P) | |
| 動画記録解像度(リヤカメラ) | 1080P(1920×1080P) | |
| 静止画記録解像度(フロントカメラ) | FHD 1080P(1920×1080P) | |
| 静止画記録解像度(リヤカメラ) | FHD 1080P(1920×1080P) | |
| ファイル形式 | 動画：「MOV」 / 静止画：「JPG」 | |
| ループ(常時)録画時間 | 1 分 | |
| 録画モード | ループ（常時）録画 / 緊急録画（衝撃感知または手動） 駐車監視録画（衝撃感知） | |
| 静止画撮影 | 対応 | |
| Gセンサー(通常録画) | オフ / 低感度 / 中感度 / 高感度 | |
| 駐車監視機能 | 対応 ※専用常時電源ケーブル接続時のみ | |
| 画像補正技術 | WDR | |
| 音声録音 | オン / オフ可能 | |
| ガイダンス音声 | 対応 | |
| GPS | 対応 | |
| 専用 PC ビューワー | 対応 ※windows 10 対応 | |
| 内蔵電源 | スーパーキャパシタ | |
| 使用電源電圧 | 12/24V 対応 | |
| 消費電力 | 最大 10W | |
| 動作温度 | -10°C~60°C | |
| 外形寸法 | 本体 リヤカメラユニット | 約 258 (W)×72.2 (H)×38.8 (D)mm (レンズ部含む) 約 49 (W)×25.5 (H)×29 (D)mm (レンズ部含む) |
| 重量 | 本体 リヤカメラユニット | 約 350g 約 30g |

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

※機能改良のため、ファームウェアのアップデートを行う場合があります。詳しくは下記のホームページを参照ください

<https://innovativesale.co.jp/>

Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

innovativesale.co.jp

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～17:00

(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp